

【1 事業の成果】

(1)フードバンク事業

◆実施内容

- ・生活自立支援法に基づく岩手県内の相談機関や役所、社会福祉協議会等 22 団体(連携機関ではなく実際に食品を提供した機関等)に譲渡(出庫)した。その他、相談機関や支援機関 16 団体(学習支援・こども食堂・被災者支援)、福祉施設等 7 施設、フードバンク団体 13 団体、計 58ヶ所へ提供
- ・食品の取扱量は提供量(入庫)が 41701.56 kg(2021 年度 52557.78 kg)と大幅に減少した、譲渡量(出庫)では 45926.69 kg(2021 年度 40114.02 kg)と前年度より多い取扱量となった。
- ・食品譲渡量(出庫)は下記の表のとおり

| 譲渡いたしました。(出庫・食料支援) | | | | |
|--------------------|-----|---------------------------------------|--|---|
| | 施設等 | 世帯数 | 人数 | 重量(kg) |
| 2022年4月 | 5 | 170 [内 定期便 100] | 493 [内 定期便 361] | 1996.79 [内 定期便 1001.08] |
| 5月 | 5 | 79 [内 定期便 3] | 178 [内 定期便 7] | 1022.78 [内 定期便 1066.72] |
| 6月 | 15 | 177 [内 定期便 85] | 506 [内 定期便 327] | 7391.48 [内 定期便 1187.71] |
| 7月 | 9 | 94 [内 定期便 0] | 188 [内 定期便 0] | 2565.7 [内 定期便 0] |
| 8月 | 10 | 646 [内 定期便 73] (内 子ども応援 487) | 2147 [内 定期便 270] (内 子ども応援 1723) | 9851.9 [内 定期便 751.07] (内 子ども応援 7938.76) |
| 9月 | 12 | 188 [内 定期便 2] (内 子ども応援 75) | 502 [内 定期便 4] (内 子ども応援 284) | 3047.15 [内 定期便 29.99] (内 子ども応援 1119.31) |
| 10月 | 6 | 179 [内 定期便 74] | 462 [内 定期便 270] | 2408.05 [内 定期便 1066.40] |
| 11月 | 3 | 108 [内 定期便 0] | 225 [内 定期便 0] | 1267.89 [内 定期便 0] |
| 12月 | 14 | 601 [内 定期便 68] (内 子ども応援 428) | 1991 [内 定期便 244] (内 子ども応援 1509) | 7156.77 [内 定期便 655.14] (内 子ども応援 6501.63) |
| 2023年1月 | 14 | 210 [内 定期便 2] (内 子ども応援 49) | 470 [内 定期便 8] (内 子ども応援 191) | 2175.22 [内 定期便 29.46] (内 子ども応援 735.38) |
| 2月 | 22 | 153 [内 定期便 71] | 438 [内 定期便 257] | 2475.76 [内 定期便 1016.08] |
| 3月 | 23 | 133 [内 定期便 2] | 255 [内 定期便 8] | 2329.07 [内 定期便 42.21] |
| 年度合計 | 145 | 2738 [内 定期便 480] (内 子ども応援 1039) | 7855 [内 定期便 1756] (内 子ども応援 3707) | 45926.96 [内 定期便 5823.08] (内 子ども応援 16295.09) |

(2) 困窮者支援事業(食のセーフティネット事業)

・行政や生活自立支援法に基づく岩手県内の相談機関、社会福祉協議会等 22 団体(連携機関ではなく実際に食品を提供した機関等)に譲渡(在庫)した。その他、相談機関や支援機関 16 団体(学習支援・こども食堂・被災者支援)計 38 団体へ譲渡した。

※行政や社会福祉協議会等の支援機関からの食料支援要請件数:1651 世帯

・フードバンク岩手への直接相談は 46 件(前年 47 件)(来所 1 件、電話 27 件、メール等 17 件、SNS1 件)あり、関係機関へつないだ。

(3) 子ども世帯見守り事業(定期便)

支援機関より依頼を受けた世帯に対し定期的に食品を提供することにより、支援機関につながり生活再建に向けた支援を受け自立した後も環境や状況の変化があっても生活を悪化させない。

食料支援を通じ支援機関とつながり続けることにより、困窮した場合や、状況が悪化しそうな場合でも困窮しきる前に再度支援機関によるよりよい支援が行えるように食料支援を通じ見守る事業。

※行政や社会福祉協議会等の支援機関からの依頼件数:延べ 480 世帯

(4) フードバンク子ども応援プロジェクト

◆実施内容

・夏、冬休み中の子どもの健康面や精神面における不安を解消すると同時に悩みごとを抱えながらも、支援が行き届いていない小中学生のいる世帯が抱えている課題や悩みを早期発見し、ケースによってはアウトリーチも行い相談機関等の社会福祉資源に早期につなぎ、生活が困窮しきる前に解決を図り重篤化を防ぐことを目的とした事業を行った。

・緊急フードドライブなどで集まった食料品の検品や梱包作業には、市民ボランティアや学生ボランティアの参加で行った。若者が将来の担い手として、子どもの貧困問題や身近な地域課題の理解を深める為に作業前にこどもの貧困についての説明会を行った。(学生 106 名)

◆成果

・1039 世帯 3777 人へ長期休み期間中に食品の詰合わせを発送、送付した食品重量合計 16295.09 kg(1 世帯あたり 15.68 kg)

・多くの世帯へ社会福祉資源の案内チラシを食品と共に同封し相談先を知ってもらい、124 世帯が早期の相談につながった。また、行政担当課や社会福祉協議会以外にも多機関との協働や連携を行うことができた。

(小中学校 18 校が本プロジェクトのモデル校となった。)

◆課題

・1 世帯あたりの送付する食品提供量は増加したが、期間中のフードドライブで必要とする食品量を集めることができず購入し対応した。

・支援機関につながるケースも増加してきたが、短期間に食品を集める方法やルートの確保が必要。

・送料の確保・学校説明の回数の増加に伴う時間の確保・申請件数の増加に伴う事務処理対応・食品提供譲渡量の増加に伴う作業工程やボランティアコーディネートの能力向上などが今後のプロジェクトを充実させ、拡大し継続させるために必要である。

(5)社会参加事業

- ・社会参加推進事業については、こども支援プロジェクトの梱包作業等をきっかけとした個人での参加をする高校生の参加も多く福祉や食品ロス問題への関心の向上や将来の担い手を増やす事ができた。一般ボランティアは長期にわたり定期的に参加する人数が増えた。また、フードバンク岩手のボランティア経験を基に他のボランティア活動参加の契機となった。
- ・一般、学生ボランティア参加人数 述べ 903 人(実人数 320 内学生数 106 人)
- ・食品提供量(入庫)は下記の表のとおり

| | 提供いただきました。(入庫) | | ボランティア参加者数 | | |
|------------|----------------|----------|------------|------|------|
| | 件数 | 重量(kg) | 実数 | 延べ人数 | 内高校生 |
| 2022 年 4 月 | 88 | 2299.12 | 15 | 60 | |
| 5 月 | 76 | 1025.81 | 16 | 57 | 1 |
| 6 月 | 105 | 3582.23 | 17 | 70 | 3 |
| 7 月 | 147 | 3215.93 | 76 | 140 | 61 |
| 8 月 | 134 | 3013.21 | 18 | 65 | 5 |
| 9 月 | 114 | 4171.84 | 18 | 70 | 1 |
| 10 月 | 97 | 2435.79 | 19 | 56 | |
| 11 月 | 122 | 6771.36 | 24 | 68 | |
| 12 月 | 187 | 6496.76 | 56 | 108 | 32 |
| 2023 年 1 月 | 118 | 2455.50 | 19 | 73 | |
| 2 月 | 121 | 4164.02 | 18 | 55 | |
| 3 月 | 120 | 2069.99 | 24 | 81 | 3 |
| 年度合計 | 1429 | 41701.56 | 320 | 903 | 106 |

(提供(入庫)件数に食品回収 BOX への個人寄付は含まない)

(※上記カッコ内の数字はフードバンクこども応援プロジェクトでの提供数)

◆成果

- ・フードバンク岩手倉庫での作業や食品輸送での市民参加者数は、一般ボランティア、学生ボランティア参加延べ人数 903 人(実人数 320 内学生数 106 人)
- ・食品提供企業の増加、常設フードバンクポスト(食品回収 BOX)設置箇所は前年より増加 16 ヶ所、合計 73 ヶ所となった。

◆課題

- ・広報や周知の徹底により、食品の取扱量は提供量(入庫)が 41701.56 kg(2021 年度 52557.78 kg)と大幅に減少した、譲渡量(出庫)では 45926.69 kg(2021 年度 40114.02 kg)と前年度より多い取扱量となった。
- ・食料支援要請件数が増加により食品取扱量も増加しているため、食品の一時的保管場所の確保が今後の課題。
- ・寄付金は単発の寄付者が多く、後助成金の申請先が減少することも考えられるため継続的な寄付につなげる広報や営業が必要。

(※ボランティア参加への申込があった学生がコロナウィルスの濃厚接触者となり当日不参加が数名出た)

(6)その他(アドボカシー)

- ・WAM シンポジウム及び岩手県議会環境福祉委員会にてフードバンク岩手の行政や社会福祉協議会等との連携による食料支援実施方法、「フードバンクこども応援プロジェクト」の取組み説明及び提案を実施。
- ・農林水産省へのフードバンク団体への組織基盤強化に関わる意見交換の実施。

(7)メディア掲載等

- ・テレビ、新聞、ラジオ 23 回 ・その他行政等が発行する広報誌等 2 回 、新聞広告 3 回

【2 事業実施に関する事項】

(1) 特定非営利活動に関わる事業

| 事業名 (定款に記載した事業) | 具体的な事業内容 | 実施 日時 | 実施 場所 | 従事者 人数 | 受益対象者 の範囲及び 人数 | 事業費 の金額 (千円) |
|--------------------|--|-----------|--------------|-----------|--|--------------------|
| フードバンク事業 | ・市民や生産者に食品の提供をお願いし、生活困窮者自立支援相談事業所などに無償で提供する事業。 | 常時 | 盛岡広域 岩手県内 | 5名 | ・岩手県内の生活困窮者自立相談事業所、施設等 58団体。 緊急食料支援 1219世帯 見守り支援(定期便)480世帯 ・東北のフードバンク活動11団体 | 6,167 |
| 困窮者支援事業 | 子どもを持つ世帯の困りごとを早期発見し支援機関との連携で解決する事業 | 随時 | 盛岡市な ど県内 | 5名 | 子ども世帯 1039世帯 | 7,693 |
| 社会参加推進事業 | 寄付された食品の仕分けや、フードドライブなどをきっかけに困窮者支援に市民の参加を促進する事業 | 週4回 程度 | 当事務所 岩手県内 | 5名 | 協力団体・企業・学校等 188団体 | 54 |
| 就労継続、就労移行支援事業 | 実施なし | | | | | 0 |
| その他の付帯する事業 | 災害時の食料支援体制構築事業(四国地方) | 月2回 程度 | 四国地方 4県 | 2名 | 四国地方の被災者支援団体 | 2,153 |

(2) その他の事業

| 事業名 (定款に記載した事業) | 具体的な事業内容 | 実施 日時 | 実施 場所 | 従事者 の人数 | 受益対象者 の範囲及び 人数 | 事業費 の金額 (千円) |
|--------------------|----------|----------|----------|------------|----------------------|--------------------|
| | | | | | | |